いわて未来づくり機構だより~第７号~

発行日　平成22年2月12日

いわて未来づくり機構は、県内各界、各層の組織の横断的かつ意欲ある「参画」「連携」を実現し、さらに各組織の智慧を結集し、スピード感を持って「実践」することにより地域の総合的な発展を目指す新しいネットワークです。

会員の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
いわて未来づくり機構だより第７号をお届けします。
本号では、2月1日に開催されました平成21年度第3回ラウンドテーブルの内容を中心に報告します。
今後とも、機構の活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

事業報告

平成21年度 第３回ラウンドテーブル

2月1日 月)15時から、盛岡市産学官連携研究センター ニラボMIU)において、平成21年度第3回ラウンドテーブルを開催しました。

会議に先立ち、産学官連携の成功事例として、株式会社アイカムス・ラボの片野圭二様、株式会社いおう化学研究所の森邦夫様からプレゼンテーションを行っていただきました。

その後、以下の事項について事務局から説明し、ラウンドテーブルメンバーでディスカッションを行いました。

説明事項】

① 事業仕分けの結果とその影響について
② ラウンドテーブルの論点について

ディスカッション】

事務局からの説明とJST イノベーションサテライト岩手の平山館長からのお話を受けて、産学官連携に関する意見交換を行いました。

また、最後に、機構としても何らかのアピールをすべきとのことから、地域科学技術振興・産学官連携についてのアピール」を採択しました。

今後、新しい作業部会を立ち上げ、国への提言について検討していくこととなります。

主な議論の内容

- ＩＮＳ方式は既にどこの地域でも行われており、差別化を図るためには、岩手はもう一歩進んだものをやっていくべき。
- 岩手県独自の発想で集中と選択をすすめないと、本当に必要なところに配分されないことになる。
- 岩手県独特の事業ができるよう仕組みを考えていくべきではないか。
- 国や県に研究費用を頼るだけではなく、企業の利益が上がるようにしながら、その収益を基金のような形でさらなる研究費用に回せるような仕組みが必要だと考える。
- 地域に貢献度が高いような研究開発は県が支援するというのが基本的な考え方である。
- 広く国全体や人類全体が利益を受けるような研究開発に関しては、国が責任をもって支援していくべきである。
- 事業仕分けの結果を受けて、危機感をもって「地域の知的基盤の強化」を要望したのは東北の７大学だけであった。
- 一括交付金は、成果の度合いに応じて配分するなどの工夫が必要であると考えており、来年は当然そうなっていくのではないかと思っている。

地域科学技術振興・産学官連携についてのアピール

１　国に対する提言

地域科学技術振興・産学官連携事業は、大学の研究成果を地域に還元し、イノベーションを持続的に生み出すことにより、地域に内発的・自立的産業を興そうという取組みであり、将来を見据え、継続した投資が欠かすことができない。我が国の成長の源は地域の活性化にこそあることから、これまでと同様、国の施策として行うことが必要である。

その支援の基本的な考えは次のとおりである。

(1) 科学技術振興・産学官連携は、地域毎に産業構造が異なり、地域の持つ資源、地方大学などのもつ研究シーズも多様であることなどを鑑みて、国は、地域が国・JST(科学技術振興機構)などと連携して積み上げてきた成果を十分に評価しつつ、地域の主体性をもった取組に対し、重点的に支援する。その場合には、地域の創意工夫が生かせるような使いやすい財源とすること。

(2) 大学の知の活用や地域のもつ特徴ある技術を核とし、低炭素型社会の実現や健康で安全・安心な地域社会を実現するなど課題解決型の研究分野に重点的に投資するといった地域の構想に応じた支援とすること。

(3) シーズ発掘から実用化までをシームレスに事業展開することが重要であり、全体を見渡すことができるコーディネート・プロモートシステムの構築を図ること。

２　いわて未来づくり機構が果たすべき役割

本県においては、これまでも国の資金を活用し、また、県単独の制度も創設しながら、産学官が連携した研究開発に取り組んできた。このような中で様々な課題も浮き彫りになってきたところである。

１で提言した支援の具体的なあり方とスキームについては、いわて未来づくり機構内に、産学官連携関係者で構成するワーキンググループを立ち上げ検討を開始するものである。

岩手のモノ紹介コーナー

アイーナ３階の「いわて希望プラザ」では「岩手のモノ紹介コーナー」として、Made in IWATE のモノ（商品、技術、サービスなど）とそのモノに対するこだわりを広く情報発信しています。

○岩手のモノ紹介コーナー　第二弾

有限会社早野商店の食用ホオズキ「ほおずきんちゃん」へのこだわりを紹介

○岩手のモノ紹介コーナー　第三弾

東北農業研究センターが栽培方法を確立した寒締めほうれん草のこだわりを紹介

○いわてビジネスプラングランプリ発表作品の展示

11 月に開催された第５回いわてビジネスプラングランプリで発表した企業と高校生のパネルを展示

今後の予定

第４作業部会シンポジウム

「地域に求められる人材育成研修プログラムとは」

日時 3月17日 水）14時から

場所 岩手大学北桐ホール 旧教育学部１号館）

マーケティングセミナー

「岩手からのインターネット通販展開方法」

日時 3月16日 火）15時から

場所 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室１

事務局からのお知らせ

会員各機関における代表者及びご担当者名、メールアドレス等に変更がございましたら、アイーナ事務局の佐藤までお知らせくださるようお願いします。

電　話：019-606-1775（FAX 兼用）　E-mail：daihyo@iwatemirai.com

ホームページ　http://iwatemirai.com/　会員用ホームページ　http://iwatemirai.com/xoops/